

はあとふる

地域支援センター通信（猪苗代支援学校）

第2号 令和4年7月20日（水）発行



「はあとふるタイム」を開催しました。

今年度1回目の保護者交流会「はあとふるタイム」を7月13日（水）に開催しました。今年度で4年目となりました。今回は、高等部の保護者2名と中学部の保護者1名に参加していただきました。

フリートークで始まりましたが、これまでの経験談、日頃疑問に思っていることや心配なこと、進路に関すること等、次々と話題が出て、大変盛り上がり、あっという間の1時間30分でした。子どもの行動でお互いに共感し合ったり、新しい情報を知ることができたりと有意義な時間となりました。話題となったことの一部を掲載しますので、ご覧下さい。



【自力通学について】

中学生の頃から電車に乗り、駅から徒歩で通学している子ども、自転車で通学している子どもが、自力通学をする上で取り組んでいたことや心配なことが話題となりました。

自力通学に向けては、公共交通機関の利用の仕方の練習を行い、切符の買い方や電車の乗降などを保護者が一緒に行うことで、本人も安心して取り組むことができているという話でした。また、今後切符を本人が一人で買ったり、改札を通ったりする経験を積ませたいこと、就労に向けて少し足をのばして行ったことのない駅に行ってみること等、保護者が本人の自立のために、という願いが伝わってきました。

公共交通機関を利用できるようになると、高等部で行われる現場実習場所や、卒業後の就労場所等の幅が広がります。夏休み期間を利用して、お子さんと一緒に公共交通機関を使ってみませんか。

【兄弟関係について】

家庭での様子の話から、兄弟関係について話題となりました。今回参加していただいたご家庭では、兄や姉が本人をよく理解して、自立に向けてかかわってくれているという話がありました。家庭全体で本人を支えている様子が伝わってきました。



様々な話題が出てきましたが、どの話題でも共通していたことは、「困ったときに助けを求められるかどうか」ということでした。自分の思い、不調、困り感等伝える力を育てるためにどのようにしていくか、参加した私も考えさせられました。

次回は、11月に開催予定です。次回は卒業生の保護者からお話をうかがう予定となっております。お話を聞くだけでも構いませんので、気軽にご参加ください。